

令和7年8月から11月にかかる事業報告

資料1

I. 企画展

1. 総合文化芸術センター

(1) 第17回高校生書道展(枚方・北河内地区)

会 期： 令和7年7月23日(水)～7月28日(月)

会 場： 枚方市総合文化芸術センター ひらしん美術ギャラリー展示室2・3

内 容： 北河内地区の高校生に作品の発表、交流の場を提供するとともに、高校生の書道活動の振興を目的に、北河内地区の高校生の書の展示を行った。

展示点数： 398点(昨年311点)

参加校： 13校(昨年11校)枚方高校、枚方なぎさ高校、常翔啓光学園高校、牧野高校、いちりつ高校、寝屋川高校、関西創価高校、守口東高校、芦間高校、門真なみはや高校、門真西高校、交野高校、野崎高校

観覧料： 無料

入場者数： 390名(昨年651名)

主 催： 枚方市総合文化芸術センター指定管理者 アートシティひらかた共同事業体

協 力： 大阪府高等学校書道教育研究会
枚方市



(2) 第43回枚方市内高校合同美術展

会 期： 令和7年7月30日(水)～8月4日(月)

会 場： 枚方市総合文化芸術センター ひらしん美術ギャラリー展示室2・3

内 容： 枚方市内高校美術部員の作品発表及び交流の場を提供し、美術創作活動の振興を目的に開催した。

展示点数： 平面・立体の展示。(平面159点、立体31点)(昨年：平面169点、立体52点)

参加校： 6校(昨年と同じ)

枚方高等学校・枚方津田高等学校・枚方なぎさ高等学校・香里丘高等学校・いちりつ高等学校・常翔啓光学園高等学校

観覧料： 無料

入場者数： 662名(昨年590名)

表彰式： 令和7年8月4日(月)16:15～

枚方市総合文化芸術センター ひらしんイベントホール

「市長賞」1名「菊桜賞」1名「優秀賞」5名の授与

主 催： 枚方市総合文化芸術センター指定管理者 アートシティひらかた共同事業体

協 力： 枚方市



非公開

(3) アート・スプラウトシリーズ ビジュアルアーツ Vol.9 稲垣尚毅〜不正解展

会 期： 令和7年9月24日(水)～9月29日(月)
会 場： 枚方市総合文化芸術センター ひらしん美術ギャラリー展示室2
内 容： 枚方ゆかりの若手芸術家に発表の場を提供することで、活動を支援することを目的に開催した。
観覧料： 無料
入場者数： 352名(昨年558名)
主 催： 枚方市総合文化芸術センター指定管理者 アートシティひらかた共同事業体
共 催： 枚方市



関連事業： 会場に来場できなかった人に向けて、作家の解説と併せて展示会場の様子を動画で配信した。

2. 御殿山生涯学習美術センター

(1) ティーンフラッシュ Vol.2 「みんなで創ろう！この街の未来」展

大阪・関西万博（夢洲）大阪ウィーク枚方ブース（ギャラリーウェスト）展示作品巡回展示

会 期： ① ワークショップ：令和7年7月21日(月)
② 万博展示：令和7年8月3日(日)
③ 御殿山での展示：令和7年8月6日(水)～8月19日(火)
④ 市内巡回展示：令和7年8月23日(土)～8月31日(日)
会 場： ① 御殿山生涯学習美術センター ギャラリースペース
② 大阪・関西万博本会場（夢洲）ギャラリーWEST
③ 御殿山生涯学習美術センター 創作室2
④ 枚方 T-SITE
目 的： 枚方市内の若い世代の学生や児童を対象に、作品発表の機会を提供し、展示やワークショップを通じて美術の芽を育む目的で開催した。又地域社会に対して、美術を通じて幅広い世代間の交流を促し、情報交換の場となる事を目指して開催した。
対 象： 枚方市内において指導者の下で美術に関し日々研鑽を積む、10代以下の学生・児童。ハサミが使える年齢から小学生以下。
内 容： 令和6年から始まった枚方市政策推進課企画の「みんなで創ろう！この街の未来」プロジェクトは、令和7年8月3日に大阪・関西万博本会場（夢洲）ギャラリーWESTに展示する目的で、各地でワークショップイベントを実施。全体計画の第1回目と最終回を御殿山生涯学習美術センターで開催した。市PR大使たけうちひろ氏が指導・監修したワークショップ作品（立体）と地域の高校生が作成した枚方の未来の地図、たけうちひろ氏がデザインした観覧車のモニュメントなど（5m×7m）の作品群は、万博会場展示後、市内を巡回展示。
「みんなで創ろう！この街の未来」をテーマに、廃材を利用して未来の観覧車のゴンドラを制作した。
観覧料： ①参加費無料
③観覧料無料

- 応募者数： ①21 名
参加者数： ①19 名（定員 15 名）
入場者数： ③延べ 1,633 名（会場出入口カウンター集計。集計方法は、カウント数値÷3.5 で算出）
主 催： 御殿山生涯学習美術センター指定管理者 枚方まなびつながりプロジェクト



(2) marron chantilly 展ーアートバトル漫画 アフル、とその根源ー

- 会 期： 令和 7 年 8 月 26 日(火)～9 月 24 日(水)
会 場： 御殿山生涯学習美術センター ギャラリースペース
目 的： 作家向け企画展として「アートフラッシュ」と「アトリエ美術館」があるが、前者は枚方にゆかりのある若手、無名の新人を募集対象とし、後者は美術界ですでにプロとして実績のある若手・中堅作家の中から選定している。また枚方にゆかりがあり、プロとして活躍しているベテラン作家向けに展覧会の企画実績もある。しかし枚方にゆかりがあり、まだ無名ではあるがプロをめざす中堅作家を対象とした企画展がないことから、今回テストケースとして特別企画を開催。展示ガラスケースのみではなく、会場全体を使った展示を考えてもらい、他作家とのグループ開催、図書館連携、アーティストトークなど他者に関わる企画を通してワンランク上の経験・実績を積み、今後の飛躍につなげてもらうことを目的とした。
- 内 容： ①マロン・シャンティ アートバトル漫画「アフル」に使用した油彩による人物画、背景画と、実在する漫画の登場人物・雲のすみか（音楽家）と水島太郎（彫刻家）の作品展示
②作家による漫画の朗読
③漫画の公開制作
④作家が影響を受けた書籍コーナーの設置(図書館連携)
- 観覧料： 無料
展示点数： マロン・シャンティ 油彩画 18 点、漫画原画 57 点
雲のすみか 絵画（CD ジャケット使用）4 点
水島太郎《鳳凰》シリーズ 6 点
MIU 絵画 9 点
入場者数： 延べ 3,313 名
（会場出入口カウンター集計。集計方法は、カウント数値÷3.5 で算出）
主 催： 御殿山生涯学習美術センター指定管理者 枚方まなびつながりプロジェクト



(3) 企画展示 玉本奈々展 「きざはし」・実技講座「きざシル」

会 期: ①企画展示

令和7年10月21日(火)～11月30日(日)

②実技講座

令和7年10月5日(土)・20日(月)・11月29日(土)・30(日)

③茶会兼合評会

令和7年11月29(土)・30(日) 予定

会 場: ①御殿山生涯学習美術センター ギャラリースペース

②御殿山生涯学習美術センター 創作室1

③御殿山生涯学習美術センター 中庭

目 的: 身近な施設で美術作品展示を開催する事で創作の動機付けとなることを目的に開催した。
又作家を中心として、美術展示・実技講座により世代や障害の有無を超えた交流の場を創出する事を目的とした。

内 容: 【作家】

玉本奈々 現代美術作家(枚方市在住)/著作家

【作家経歴】

繊維造形物によるレリーフ状絵画と立体、インスタレーションで知られる。布を縫い合わせ収縮、亀裂を起こした技法、また古木の樹皮か珊瑚のような質感のオブジェと化した布の塊、樹脂による凸状波紋など、豊穣な物質的マチエールや飛沫状の色彩表現が特徴。ヨーロッパでは彫刻絵画ともいわれる。表現方法としての在り方に限界を感じた玉本は油絵具を一旦排除、生死において身に纏う布に着目する。

①企画展示 玉本奈々展 「きざはし」

■企画展示内容 枚方市所蔵作品2点/高橋龍太郎コレクション7点/他作家所蔵

平面作品: 繊維レリーフ 26点

立体作品: 繊維造形物 2点

■その他

【図書館連携】・美術センター: 絵本原画展示(水彩画・鉛筆等 31枚)

・図書館: 玉本奈々関連図書コーナーを設置・貸し出し

【教育プログラム(美術センター・図書館同時開催)】

展示作品にまつわるクイズカードを配布し、回答後バッジを先着100人にプレゼント。

・美術センター: クイズカード制作(全6種類毎週月曜か火曜に更新)

・図書館: 玉本奈々オリジナル缶バッジ制作(デザイン美術センター)

【地域連携】・御殿山渚商店会主催ハロウィーンイベント「ゴテハロ」において
ランタン制作指導

観覧料: 無料

入場者数： 2,931 名※11 月 16 日時点(会場出入口カウンター集計。集計方法は、カウント数値÷3.5
で算出)

主 催： 御殿山生涯学習美術センター指定管理者 枚方まなびつながりプロジェクト



内 容： ②実技講座「きざシル」

■実技講座 全3回（4日）現代アート講座開催。網戸で屏風を創る。

②ー1 第1回：2025年10月5日

網戸をベースとしたファイバーアートで屏風を制作。毛糸や麻ひもなどの素材の他、各自の思い出のある衣服等の素材を活用し手で割く・縫う・貼る（接着剤：カネダイン）等の手法を用いて、屏風に人の顔を創作した。

②ー2 第2回：2025年10月20日

「きざはし」 展の設営と同時に作家とともに屏風を中庭に展示設営した。

③第3回：2025年11月29日・30日各日3回開催予定

テーマ：作品を創作した後、一般観覧者との交流を持つことにより、視覚に自信がない中で美術を楽しむために必要なことを互いに探り、茶会形式の作品合評会を開催する。

（茶席）

- ・場 所 御殿山生涯学習美術センター 中庭 野点
- ・テーマ 「明歴々露堂々」
- ・一般参加費 500 円
- ・定 員 各回5名
- ・募集方法 電話・窓口申し込み

参加費： 1,500 円（全3回・4日間）※茶席のみ参加の場合 500 円

定 員： 10 名(実技講座)

応募者数： 10 名

参加者数： 9 名（1 名当日キャンセル）

主 催： 御殿山生涯学習美術センター指定管理者 枚方まなびつながりプロジェクト

非公開



Ⅱ. 公募展

1. 総合文化芸術センター

(1) 第23回とびだせ！ひらかた大図鑑 小・中学生絵画コンクール

- 会 期： 令和7年8月6日(水)～8月11日(月・祝)
- 会 場： 枚方市総合文化芸術センター ひらしん美術ギャラリー展示室2・3
- 内 容： 小・中学生を対象に、身の周りに対する観察力や表現力、豊かな感受性を育くみ、家族や友達に鑑賞してもらう機会を得ることで、自信の創作意欲を高めることを目的に開催した。
- 対 象： 枚方市内在住・在学の小中学生
- 募集期間： 令和7年6月1日(日)～7月20日(日)
- 展示点数： 150点(小学生106点・中学生44点)(昨年：157点(小学校111点・中学校46点))
- 審査日： 令和7年7月24日(木)
- 審査員： 美術推進委員2名(橋爪会長・平井副会長)
- 表彰式： **日時** 令和7年8月11日(月・祝) 10:30～11:30
場所 枚方市総合文化芸術センター ひらしんイベントホール
内容 「市長賞」「教育長賞」「審査員特別賞」(小・中学生から各1名)、
「優秀賞」(小学生から8名、中学生から6名)の表彰及び橋爪会長による講評
賞品 市長賞：3,000円、教育長賞：2,000円、審査員特別賞：1,000円
優秀賞：500円(以上図書カード)、
参加賞：くらわんこ缶バッジ
- 観覧料： 無料
- 入場者数： 845名(昨年535名)
- 主 催： 枚方市総合文化芸術センター指定管理者 アートシティひらかた共同事業体
- 共 催： 枚方市



展示風景

非公開

表彰式

非公開

表彰式

(2) 市民総合文化祭 2025 展示部門

会 期： 令和 7 年 8 月 30 日(土)～9 月 7 日(日)
会 場： 枚方市総合文化芸術センター ひらしん美術ギャラリー全室
内 容： 日頃から文化芸術活動を行っている市民を対象に発表の場を提供するとともに、出品者等の交流を深めることを目的に、市民の作品(絵画、書、写真)を公募し展示した。
対 象： 枚方市内在住・在職・在学の 16 歳以上の方
募集期間： 令和 7 年 5 月 1 日(木)～7 月 31 日(木)
展示点数： 絵画 60 点／書道 17 点／写真 31 点 (昨年：絵画 55 点／書道 17 点／写真 36 点)
観覧料： 無料
入場者数： 1,482 名 (昨年 1,164 名)
主 催： 枚方市総合文化芸術センター指定管理者 アートシティひらかた共同事業体
共 催： 枚方市



展示風景



展示風景

(3) 第 28 回ひらかた工芸展

会 期： 令和 7 年 10 月 8 日(水)～10 月 13 日(月)
会 場： 枚方市総合文化芸術センター ひらしん美術ギャラリー全室
内 容： 市民の創作美術工芸の振興と本市の工芸美術文化の推進を目的に、枚方工芸会会員による「枚方工芸会展」と公募による「市民公募作品展」で構成。
今回は枚方工芸会 60 周年の記念展として、歴代会長(吉向蕃斎、水田博幸)の作品や、工芸会の歴史を紹介するパネルを展示した。
最終日に枚方工芸会会員による「出品者講評会」を開催した。
日時 令和 7 年 10 月 13 日(月・祝) 16:00～17:00
場所 枚方市総合文化芸術センター ひらしん美術ギャラリー
参加者数 21 名
対 象： 枚方市内在住・在職・在学の 15 歳以上の方
募集期間： 令和 7 年 6 月 1 日(日)～8 月 15 日(金)
展示点数： 110 点(公募 40 点、工芸会 70 点) (昨年 103 点(公募 36 点、工芸会 67 点))
観覧料： 無料
入場者数： 1,592 名 (昨年 1,695 名)
主 催： 枚方市総合文化芸術センター指定管理者 アートシティひらかた共同事業体
共 催： 枚方市



工芸会の作品



水田博幸の作品



公募の作品



工芸の技の紹介展示(イベントホール)

2. 御殿山生涯学習美術センター

(1) ギャラリー個展

- 目 的： 展示ガラスケースの活用の一環として、利用者や一般市民の個展開催のニーズに応え、創作への意欲を促進することを目的に提供する。
- 内 容： 枚方にゆかりのある作家を年1回募集し、約2週間1階展示ガラスケースにて展示。
- 観覧料： 無料

① 第23回 吉田 雅子展

会 期： 令和7年7月29日(火)～8月3日(日)

展 示： 油彩・水彩

展示点数： 20点

来場者数： 738名（会場出入口カウンター集計。集計方法は、カウント数値÷3.5で算出）



② 第24回 椿 訓明展

会 期： 令和7年9月26日(火)～10月5日(日)

展 示： 油彩

展示点数： 28点

来場者数： 1014名（会場出入口カウンター集計。集計方法は、カウント数値÷3.5で算出）



Ⅲ. 講座

1. 御殿山生涯学習美術センター

(1) 実技講座 OPEN ATELIER 「"つくる"をひらく」

日 程： 令和7年7月～8月 全4回

目 的： 創作活動の普及や新規利用者の獲得を見据え、御殿山生涯学習美術センターでの創作活動が更に充実化する多彩なテーマを設定。学びの動機付けや創作室の利用促進を目的とする。

内 容： 市民に向けた美術に関する学習の新たな機会として、関西を拠点に活躍する多彩な講師陣による全4回のワークショップ「"つくる"をひらく」を開催。

モデレーター： 松見 拓也（まつみ たくや）

略 歴： 1986年 神戸市生まれ、2010年 contact Gonzo に加入。2010年アーティストのNAZEと犯罪ボーイズ結成。2012年京都精華大学デザイン学部グラフィックデザインコース卒業。

モデレーター： 野口 卓海（のぐち たくみ）

略 歴： 美術批評家／詩人。1983年京都市生まれ。2007年近畿大学文芸学部芸術学科造形美術専攻芸術理論コース 卒業。

第1回： 7月19日(土) 宍倉慈とつくるをひらく

食を用いて表現するアーティストでもある宍倉慈と参加者が、生地をこねることを通して「何故つくるのか」という問いに向き合うワークショップ。小麦粉、片栗粉、餅粉など複数の素材を自由に選び、参加者其々が約2時間の間ずっと生地をこねながらモデレーターの進行と共に制作と対話をしていく。宍倉の創造思想や制作動機にもふれながら、各々がつくることを捉えなおし自らの感覚をひらく内容。こねた生地は、参加者其々が持ち帰り自由に調理した。

講 師： 宍倉 慈（ししくら めぐみ）

略 歴： フードケータリング「VOLVER」を主宰。京都を拠点に近隣の有機野菜を中心に使った料理で味覚、視覚共に楽しめる料理を提供。
主に展覧会のレセプション、ファッションブランドのイベントなどへのケータリングを行う。

第2回： 8月2日(土) 迎絵里子とつくるをひらく

タオルをふむ動作を繰り返しながら、モデレーターと共に参加者と迎絵里子が対話を行う。迎の作品資料も投影し作品の背景にある考えなど自然な会話の中で話された。約2時間ふみ続けたタオルは、モデレーターの松見拓也が記録撮影し、撮影後は全員で鑑賞を行った。

講 師： 迎 英里子（むかい えりこ）

略 歴： 1990年兵庫県生まれ。2015年京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。
愛知県立芸術大学美術学部講師。

主な展覧会に、京都市京セラ美術館 トライアングル（京都市京セラ美術館、京都、2025 年）、国際芸術祭「あいち 2022」（墨会館・小信中島公民館、愛知、2022 年）、「ARTS & ROUTES -あわいをたどる旅-」（秋田県立近代美術館、2020 年）「OPEN SITE 2017-2018 『不純物と免疫』」（トーキョーアーツアンドスペース本郷、東京 2017 年）など。

第 3 回： 8 月 2 日(土) 三重野龍とつくるをひらく

口をつかって噛むー不可視の形の変化ーに焦点をあて、約 2 時間大量のガムを噛みながら三重野龍とモデレーターと共に「つくること」にいて対話し、かむ動作によりガムを素材として造形。三重野龍の特徴的なタイポグラフィやそのデザインの背景にある創造性について、「かむ」という動作をヒントに様々な切り口で語られた。噛んだガムは、参加者其々が黒い台紙に設置し、最終的な造形について全員で講評会を実施した。

講 師： 三重野 龍（みえの りゅう）

略 歴： 1988 年兵庫県生まれ。2011 年京都精華大学グラフィックデザインコース卒業。大学卒業後、京都にてフリーのグラフィックデザイナーとして活動開始。美術や舞台作品の広報物デザインを中心に、ロゴやグッズなど、文字を軸にしたグラフィック制作を实践。EXPO 2025 大阪関西万博の会場内モニュメントのタイポグラフィを手掛ける等、もっとも注目を浴びる日本人グラフィックデザイナーの一人。

第 4 回： 8 月 23 日(土) 神馬啓佑とつくるをひらく

アルブレヒト・デューラー（画家、版画家、数学者）の作品「祈る手」などを基に、参加者が描かれたイメージをカーボン紙に重ねてなぞり、画用紙に模写。参加者がなぞる動作を続けながら、絵画の歴史について神馬啓佑とモデレーターの野口卓海が独自の視点で語った。参加者は自由にその会話に加わりながら「絵画とは何か」について各々考察を行った。完成した模写の作品を通じて、最終的に全員で鑑賞し絵画の歴史を振り返りながらディスカッションを実施した。

講 師： 神馬 啓佑（じんば けいすけ）

略 歴： 1985 年、愛知県生まれ。兵庫県育ち。2009 年、京都造形芸術大学 美術工芸学科 洋画コースを卒業。2011 年、京都造形芸術大学大学院 芸術研究科表現専攻を修了。

参加費： 各回 1,000 円(材料費込み)

定 員： 20～30 名

参加者数： 合計 44 名参加

第 1 回 7 月 19 日(土) 講師：宍倉慈（料理）13 名（定員 30 名）

第 2 回 8 月 2 日(土) 講師：迎絵里子（パフォーマンス・彫刻）12 名（定員 30 名）

第 3 回 8 月 2 日(土) 講師：三重野龍（文字） 7 名（定員 20 名）

第 4 回 8 月 23 日(土) 講師：神馬啓佑（絵画） 12 名（定員 20 名）

主 催： 御殿山生涯学習美術センター指定管理者 枚方まなびつながりプロジェクト

非公開

非公開

非公開

非公開

IV. 市所蔵作品の展示

1. 総合文化芸術センター 市所蔵作品展示スペース

展示期間： ① 7月30日(火)～9月29日(月)

② 10月1日(火)～11月24日(月)【前期展示】

目的： 市民が芸術に触れる機会を広く提供するとともに、市所蔵美術作品等の有効活用を目的として実施

展示作品：



① テーマ

「榮永大治良 生誕 100 年記念～
市所蔵作品でその足跡を追う～」

【絵画】

「山中の村落（太行山脈）」

「中國黄土高原 春俟つ大地」

「カトマンズにて 婦人像」

「物売と人々 ポカラネパールに
て」

「晩秋の白馬山麓」

②水田 博幸 ～貝工芸の世界～

【貝工芸】

「日本橋 朝之景」

「品川 日之出」

「大磯 虎ヶ雨」

「箱根 湖水図」

「蒲原 夜之雪」

「島田 大井川駿岸」

「御油 旅人留女」

「宮 熱田神事」

「関 本陣草立」

「草津 名物立場」

「大津 走井茶店」

「京師 三条大橋」

「伏見 白狐」

「淀 水車」

「枚方 船宿鍵屋」

「守口 守口大根」

「大坂 京橋」

2. 御殿山生涯学習美術センターロビー展示ケース

展示期間： ① 令和7年7月30日(火)～9月29日(月)

② 令和7年10月1日(火)～12月23日(月)

目的： 市民が芸術に触れる機会を広く提供するとともに、市所蔵立体作品の有効活用を目的として実施

展示作品： ① 吉村利美(よしむら としみ) 「瓶」

② 船木研兒(ふなき けんじ) 「三彩釉手付壺」



非公開

吉村利美
「瓶」



非公開

船木研兒
「三彩釉手付壺」

3. 枚方市役所 市役所別館1階(Art Exhibition)

展示期間： ① 令和7年7月30日(火)～9月23日(月)
② 令和7年9月23日(火)～9月29日(月)
③ 令和7年9月30日(火)～12月23日(月)

榮永大治良 「鍵屋近く」
稲垣尚毅 「ONE STROKE」
水田博幸 「三十石船」

目 的： 市所蔵作品の展示



非公開

榮永大治良
「鍵屋近く」



非公開

稲垣尚毅
「ONE STROKE」



非公開

水田博幸
「三十石船」

V. その他の事業

1. 総合文化芸術センター

(1) アートでおしゃべり～キミはどう思う?～

会 期： 令和7年10月4日(土)
①11:00～11:45 ※対象：小学生 ②14:00～14:45 ※対象：一般(中学生以上)

会 場： ひらしんイベントホール

内 容： 【ナビゲーター】サントリー美術館所属学芸員

「対話型鑑賞」という鑑賞方法を通して、美術や作品の事前知識がなくとも鑑賞を楽しむことを、参加者に体験していただいた。美術館ではない空間でも美術を楽しむ機会を、子どもから大人まで幅広い世代に提供した。

展示作品： 伝 土佐光成「和歌の橘図巻」※画像使用(サントリー美術館所蔵)

猪風来「妊婦(A)」(枚方市所蔵)

サルバトール・ダリ「花シリーズ」(枚方市所蔵)

観覧料： 無料

定 員： 30名程度(先着順)

参加者数： ①4名 ②19名

主 催： 枚方市総合文化芸術センター指定管理者 アートシティひらかた共同事業体

非公開	非公開	非公開
-----	-----	-----

【みる】

作品の細部や全体を観察し、どんなことを感じたか、どこからそう思ったかを考えました。

【話す】

自分が感じたことや考えたことを他の参加者に伝え、意見を共有しました。

【聞く】

他の人の意見や視点を丁寧に聞き、新しい発見や多様な考え方を受け止めました。

2. 御殿山生涯学習美術センター

(1) 利用団体へのロビー展示の貸出

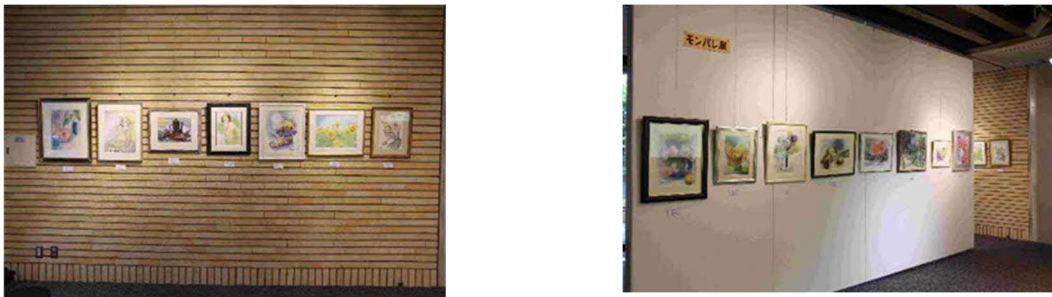
会 期： 通年

目 的： センター利用者に創作意欲の向上や、利用者間の交流・活性化を促進する目的に、1 階ロビー壁面及び可動式壁面を展示スペースとして提供した。

対 象： 御殿山生涯学習美術センターを継続して利用する美術創作団体を対象に、1 団体につき、最大 2 週間を限度として貸出する。

内 容： ロビー壁面に作品展示（平面作品及び立体作品）

使用料： 無料

展示期間	展示団体	展示内容
9 月 25 日 (木) ～ 10 月 5 日 (日)	モンパレ	「モンパレ展」 水彩・アクリル 20 点
		

※参考

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
利用数（団体数）	11	14	17	10	5	6	6	7	5

(2) 第37回御殿山生涯学習美術センター作品合同展

- 会 期： 令和7年10月14日(火)～10月19日(日)
- 目 的： 御殿山生涯学習美術センターを利用する創作団体が一堂に会し、日頃の成果発表や団体相互の交流を図ることを目的とした合同展覧会。
- 内 容： センター諸室を利用して利用団体・個人作品を展示。
会期中には、利用団体によるワークショップ、チャリティバザーやオークション等のイベント開催や、喫茶コーナーを特設し館内の賑わいを創出。近隣住宅へのチラシ配布(約3,600部)最終日は最寄りの御殿山駅からシャトルタクシーサービスを実施し、創客の工夫に取り組んだ。
(参加団体から選出された役員及び実行委員により年4回の運営会議を経て諸事項を決定する実行委員会形式で運営する展覧会)
- 出品料： 平面/75cm 四方以内：500 円、150 cm四方以内：1,000 円
立体/1 単位：1,000 円 (1 単位は幅 60cm、奥行 90cm、高さ 1 m)
- 観覧料： 無料
- 出品数： 出展作品 274 点 (平面団体 9 団体、立体団体 12 団体、個人 5 名)
〔前年度出展作品 264 点 (平面団体 8 団体、立体団体 12 団体、個人 6 名)〕
- 来場者数： 395 名 (目録配布数/前年度 523 人)
延べ 960 名 (会場出入口カウンター集計)
- 主 催： 御殿山生涯学習美術センター作品合同展実行委員会



(3) 自主事業「オープンごてんやま」

- 会 期： 令和7年8月1日(金)～8月31日(日)
- 目 的： 御殿山生涯学習美術センターで活動する創作系サークル・団体活動の活性化、地域住民との交流、施設の利用促進を目的とする。
- 内 容： 御殿山生涯学習美術センターで活動するサークル・団体のメンバー募集を兼ねた一般来場者とのマッチング型イベント。8月の1ヶ月間に利用している創作団体の活動見学のためのチラシ・ポスターを作成し広報ひらかたにもイベント情報を掲載。チラシ等を見た利用者からセンターに問い合わせをいただき、サークル・団体活動を見学案内し、活動への参加を促進するイベント。
- 観覧料： 無料
- 見学者数： 15 名

